



児童発達支援自己評価表（2020年度）

ILIS CLUB 松原

（環境・体制整備）

①お子様の活動スペースとして事業所の広さは十分ですか？

はい。

フロアの広さは保護者様の満足度も高く、個室が3つあり、個別療育・講座にも活用している。

②職員数や専門性は適切ですか？

はい。

適切なスタッフ配置をしている。

③事業所内の設備は、お子様にわかりやすいように配置されていますか？（机や本棚など）
また、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等への配慮をしていますか？

はい。

スロープや手すりを配置し、段差も少なく、エレベーターも完備されている。

絵カードや時計カード、当日の予定表などを使い、情報が分かりやすいように配慮している。

④事業所内は清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか？

また、お子様の活動に合わせた空間となっていますか？

はい。

毎日お子様たちと一緒に清掃活動をしている。当日の療育内容に合わせて必要なものを配置したり、お子様自身で荷物の整理や管理が出来るようにロッカー等を配置している。

（業務改善）

⑤業務の改善のために目標を決め、その目標が達成できているか、事業所の職員の多くで振り返りをしていますか？（PDCAサイクル）

はい。

月に1度事務所会議を開催し、全スタッフで意見を出し合い、次月の目標を話し合っている。目標に沿って支援が出来ていたか、お子様の様子など、先月の振り返りを行っている。

また、朝礼・終礼時に情報共有を行い、終礼で改善点や目標が達成できているかの確認を行っている。

⑥保護者様向け評価表を活用し、保護者様の意向を把握し、業務の改善につなげていますか？

はい。

日々、保護者様からのご意見やご要望にお応えすることが出来るよう心掛けている。

⑦この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開していますか？

はい。

1年度に1度、自己評価表の結果をホームページで公開している。

⑧第三者による外部評価を行い、その結果を業務の改善につなげていますか？

いいえ。

現在は行えていない。

⑨職員の資質向上のために、研修の機会を確保していますか？

はい。

参加できる研修は可能な限り参加し、スタッフの知識を向上させ、専門性を高めるよう努めている。

（適切な支援の提供）

⑩アセスメントを適切に行い、お子様と保護者様の希望や課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成していますか？

はい。

利用契約時や定期的にアセスメントシートを用いて面談を行い、保護者様の希望や課題を反映した上で、個別支援計画を作成している。

⑪お子様の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール※1を使用していますか？

はい。
利用契約時等に標準化されたアセスメントツールを使用している。

⑫個別支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」の中から、お子様に必要な支援が選択され、具体的な支援内容を設定していますか？

はい。
児童発達支援ガイドラインを軸にお子様に必要な支援内容を分析し、個別支援計画の内容を設定している。

⑬個別支援計画に沿った支援を行っていますか？

はい。
全スタッフが個別支援計画の内容を把握出来るよう、事務所会議の際や、定期的に伝える場を設け、全スタッフが個別支援計画に沿った支援の実行に努めている。

⑭活動プログラムの立案をチームで行っていますか？

はい。
事務所会議の際に、全スタッフで来月・再来月の活動プログラムの意見を出し合い、プログラムを決定し、より良い支援の提供を目指している。

⑮活動プログラムを固定化しないように工夫していますか？

はい。
固定化しないように、スタッフ同士で話し合い、その時期にあったプログラムや新しい取り組みにも積極的に取り組んでいる。

⑯お子様の状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて個別支援計画を作成していますか？

はい。
児童一人ひとりに合わせたプログラムの個別療育の内容、集団活動の場での課題や目標を軸に個別支援計画を作成している。

⑰支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認していますか？

はい。
前月に決めた月間スケジュールを元に、毎日の朝礼の際に当日のプログラムや支援内容の打ち合わせをし、役割分担を行い、1日の流れを出勤スタッフ全員で共有している。

⑱支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有していますか？

はい。
終礼を必ず行い、その日の振り返りを行い気付いた内容を記録し、全スタッフで情報共有をしている。

⑲日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげていますか？

はい。
業務日報と個別療育記録表に当日利用した一人ひとりの記録を取り、全スタッフがその内容を確認し、朝礼・終礼・事業所会議等に支援の検証・改善に努めている。

⑳定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しが必要かどうかを判断していますか？

はい。
3ヶ月に1度モニタリングを作成する際に、見直しが必要か判断している。
また、個別支援計画作成前に保護者様との面談を行い、個別支援計画の内容に反映している。

（関係機関や保護者様との連携）

⑲障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議に、そのお子様の状況に精通した最もふさわしい職員が参加していますか？

はい。

必ず、児童発達支援管理責任者かマネージャーが参加するように徹底している。

⑳母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っていますか？

どちらともいえない。

市役所の子育て支援担当者と話し合う機会を多く設けた。お子様の情報交換をしたり、今後の支援方法について話し合った。相談支援事業所とも関係性が深まるよう何度も伺い、連携して支援を行える児童が増えている。特定のお子様の事しか話し合いが出来ていないため、他のお子様も連携した支援を行っていただけるようにこれからも積極的に関わっていく。

㉑（医療ケアが必要なお子様や重症心身障がいのあるお子様等を支援している場合）
地域の保健・医療・障がい福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援を行っていますか？

いいえ。

医療ケアが必要なお子様がいない。

㉒（医療ケアが必要なお子様や重症心身障がいのあるお子様等を支援している場合）
お子様の主治医等と連絡体制を整えていますか？

いいえ。

医療ケア必要なお子様が利用になった際は、連絡先を教えてもらい、連絡体制を整える。

㉓移行支援として、保育所・幼稚園・認定こども園・特別支援学校（幼稚部）等と、支援内容等の情報の共有をしていますか？

どちらともいえない。

出来ている児童もいるが、関係性をまだ深めることが出来ない保育園・幼稚園もあるのでお子様の情報共有をしながら、保育園・幼稚園との関係性を深め、情報共有していきたい。

㉔移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報の共有をしていますか？

どちらともいえない。

現在、情報共有が行えているお子様もいるが、全お子様の情報共有をすることができていない。

㉕他の児童発達支援センター・児童発達支援事業所・発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けていますか？

はい。

研修があれば、可能な限り参加し、積極的に交流をしている。これからも積極的に交流し、助言や研修を受ける。

㉖保育所・認定こども園・幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がありますか？

いいえ。

現在、そういった機会はない。今後は交流する機会を作っていきたい。

㉗（地域自立支援）協議会等※2へ積極的に参加していますか？

はい。

その都度参加し、他事業所との交流を積極的に行っている。

㉘日頃からお子様の発達の状況や課題を、事業所と保護者様とで伝え合い、共通の理解ができていますか？

どちらともいえない。

常に連携を取るよう努めている。日々のやり取りの中で信頼関係を築き、気軽に話していただけるような環境作りに努める。

㉙保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して、育児に関する助言等の

支援を行っていますか？

どちらともいえない。

よく相談を受ける保護者様にはその都度支援をおこなっているが、全保護者様に助言等を行うことが出来ていないのが現状である。利用回数が少ないお子様の場合は、コミュニケーションを取る機会も少ないので、利用の際は今まで以上に関係性を深められるよう、積極的に関わっていく。

（保護者様への説明責任等）

③②運営規程・支援の内容・利用者負担等について丁寧な説明を行っていますか？

はい。

契約の際に、詳しく説明している。

③③個別支援計画の支援内容について、児童発達支援のガイドラインの内容に基づいて説明をし、保護者様からの同意を得ていますか？

はい。

児童発達支援ガイドラインの内容に基づいて個別支援計画を作成し、保護者様への説明を行っている。

③④保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っていますか？

はい。

保護者様からの子育ての悩み相談を受けると、スタッフ同士で話し合い、適切な助言と支援を行っている。

③⑤親の会の開催等により、保護者様同士の連携の支援をしていますか？

はい。

今年度は、コロナの影響で開催できなかったが、毎年2回以上、親の会を開催し保護者様同士の情報共有できる場所を提供している。

③⑥お子様や保護者様からの相談や申し入れがある場合の対応の体制が整っていることを、お子様や保護者様へ説明していますか？また、相談や申し入れがあった場合、迅速かつ適切な対応をしていますか？

どちらともいえない。

保護者様から相談があった場合は、迅速に対応し、スタッフ同士で相談内容を話し合い、密な対応を心掛けている。全保護者に体制が整っていることを理解してもらえよう、再度説明していく。

③⑦定期的におたよりやホームページ等で、活動内容・行事予定・連絡体制等の情報を発信していますか？

はい。

毎月1度のおたよりでは活動内容や来月の行事予定を伝えている。ブログでは写真を入れて、分かりやすく活動内容を伝えるようにしている。

③⑧個人情報の取り扱いは適切ですか？

はい。

個人情報が書かれている書類は必ず、鍵付きの書庫に保管している。処分する場合は必ずシュレッダーで処分をしている。

③⑨障がいのあるお子様や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしていますか？

はい。

意思疎通できるように、お子様・保護者様に合った伝達方法を工夫して伝えるようにしている。

③⑩事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営をしていますか？

どちらともいえない。

掲示板の確認は常に行い、地域の連合会にも参加している。営業に行くことで相談支援事業所や保育園・幼稚園と関わることは増えてきている。

(非常時等の対応)

④①緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者様に周知していますか？

いいえ。

スタッフには周知できているが、保護者様に周知できる機会が無いため、おたよりや親の会で積極的には発信していきたい。

④②非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っていますか？

はい。

月に1度、様々な状況に合わせて避難訓練を行い、ありとあらゆる避難の状況を試し、避難訓練を行っている。避難訓練を行っていることを知らない保護者様の方もいるため積極的にアピールする。

④③事前に、服薬・予防接種・てんかん発作等のお子様の状況を確認していますか？

はい。

利用契約時に服薬や予防接種、てんかんがある場合は詳しく聞き取りを行い、アセスメントシートに転記し全スタッフが確認している。

④④食物アレルギーのあるお子様について、医師の指示書に基づく対応をしていますか？

はい。

全お子様にアレルギーに関するアンケートを取り、把握している。保護者様に医師の指示書の確認を取り、それに基づいて対応を行っている。

④⑤ヒヤリハット事例集を作成して、職員間で共有していますか？

はい。

ILIS CLUB全事業所のヒヤリハットや事故報告書を共有し、全スタッフで確認している。同じことが2度と起こらないように、事業所内でも検討している。

④⑥虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしていますか？

はい。

虐待防止の研修はスタッフ全員が必ず参加するようにし、研修に参加したスタッフは全スタッフに内容を再度周知している。

④⑦どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者様に事前に十分に説明し、了解を得た上で、個別支援計画に記載していますか？

いいえ。

身体拘束を必要とするお子様が現在はいない為、個別支援計画には記載していないが、必要になった場合は、必ず説明と個別支援計画への記載を行う。

(注釈)

※1 「標準化されたアセスメントツール」

知的能力だけでなく、社会適応能力（対人関係や社会性等）の観点から、お子様それぞれの支援ニーズを客観的に把握するための基本的なツールのこと

※2 「（地域自立支援）協議会等」

障がい児相談支援事業所・学校・医療機関・専門機関・保育所

・児童発達支援事業所・他の放課後等デイサービス事業所・放課後児童クラブ

・自治体など